

特定小電力ハンディトランシーバー  
(総務省技術基準適合品)

# DJ-CH271

(S:シルバー/ショートアンテナ)  
(B:ブラック/ロングアンテナ)

## 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。  
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

RoHS

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。



## アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888  
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル3階 TEL.06-7636-2361  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅2丁目13番34号 エコーピル2階 TEL.092-473-8034

### アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。

受付時間 / 10:00~17:00(土曜・祝日及び12:00~13:00は除きます)

ホームページ http://www.alinco.co.jp/「電子事業」をご覧ください。

PS0835SA  
FNEI-NI

## 使用前のご注意

### ■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

### ■ 水につけないで

JIS IPX4相当の防沫性能がありますが、ゴムキャップや電池フタをきちんと閉じていないと防水性能を保証できません。また完全防水構造ではありませんので水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。

濡れたあとは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。

防水に使われているゴムキャップなどは経年劣化が生じ、防水性が失われることがあります。

弊社では防水性についても製品と同じ保証期間ですのでご了承ください。

### ■ 分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

### ■ ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。  
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺)

日本国内でのみ使用できます。

This product is permitted for use in Japan only.

### ■ 通信距離

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

- ・海上、山頂など条件のよい所 : 2kmまたはそれ以上
- ・河原など障害物のない平地 : 500m~1km程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地 : 500m程度
- ・市街地のような障害物の多い所 : 200m程度
- ・ショートアンテナでの通信距離は半分程度になることがあります。

### ■ 障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

### ■ バッテリーセーブ

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するかキー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが異常ではありません。

### ■ 第三者による傍受

電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■ 本機のセットモードには「グループトーク」機能が搭載されています。  
従来製品とグループトークによる通話を起こした際、会話が途切れることができます。  
このような場合は弊社ホームページに記載してある上級セットモードの「トーンマージン拡張」機能をONにしてお試しください。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 表示

表示の意味	
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 図記号

表示の意味	
△	△ 記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
○	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜いて）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 警告

### ■ 使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。  
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人が死なれることがあるが、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通事故違反で罰せられます。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通事故違反で罰せられます。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れる、火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

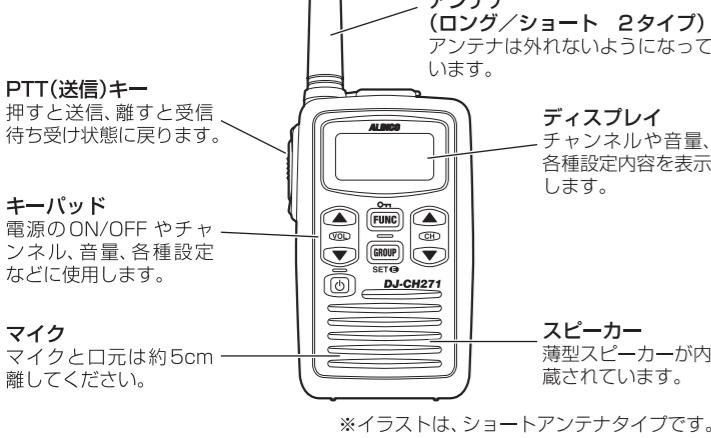
ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

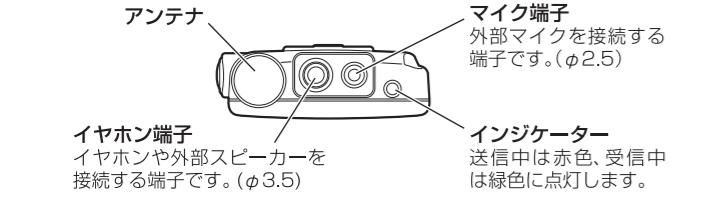
近くに小さな金属物や水などの入った

## 各部の名前とたらき

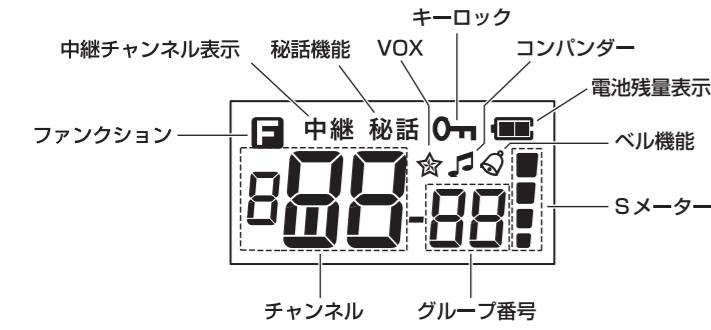
### 前面部



### 上面部



### ディスプレイ



### チャンネル表示について

#### ●互通話時

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。  
L表示はレジャータイプ L01, L09  
b表示はビジネスタイプ b01, b11

#### ●中継通信時

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。  
L表示はレジャータイプ L10, L18  
b表示はビジネスタイプ b12, b29  
18チャンネル

## セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

### セットモードにする

- ①[FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。  
→セットモードに入り、項目が表示されます。
- ②[GROUP]キーを押すごとに項目が切り替わります。  
[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③CH[▲/▼]キーを押して設定値を変更します。
- ④[PTT]キーを押して設定を完了します。

**メモ** セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。  
[http://www.alinco.co.jp/「電子事業」](http://www.alinco.co.jp/)

**注意** [FUNC]キーを押したまゝに[GROUP]キーを短く押してください。[FUNC]キーを長く押す、または[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に長く押すとキーロックする操作になりますのでご注意下さい。

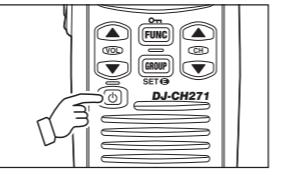
## 基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

### 互通話

#### ■電源を入れる

[ON]キーを約2秒間押します。  
電源を切るときも同じ操作をします。



#### ■音量を調整する

VOL[▲/▼]キーを押す

ディスプレイに音量レベル「vol-15」が表示されます。  
キーを押すと「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。  
音量調整は0~30の31段階で、初期状態は「15」に設定されています。



#### ■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

通話したいトランシーバーすべてと同じチャンネルに合わせます。L(レジャー)、b(ビジネス)の表示に注意して合わせてください。

**メモ** キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。  
CH[▲/▼]キーを同時に押すと「ザ」というノイズが聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

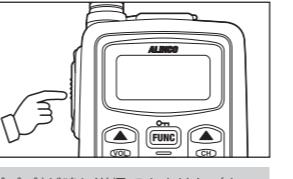
#### ■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。  
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

**メモ** 本機にはテールノイズキャンセラ機能を搭載しており受信終了時の「ザ」というノイズが低減されています。  
(テールノイズキャンセラ機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

#### ■送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。  
インジケーターが赤色に点灯し、Sメーターも同時に点灯します。  
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。



**注意** 一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「ブブ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

[PTT]キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

### 中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

#### ■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

中継通話用チャンネルのL10~L18, b12~b29を選択します。  
→「中継」が点灯します。



#### ■送信する

[PTT]キーを押し続けます。

→直後に「ピッ」という音が鳴ります。

[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

**メモ** お使いになる中継器の設定をご確認ください。  
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機もグループトーク機能を設定し、グループ番号も合わせてください。

**注意** 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。  
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。  
子機一中継器間、子機一子機間は10m以上離してください。

**メモ** 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。  
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。  
子機一中継器間、子機一子機間は10m以上離してください。

<b